

第1回 廃棄物対策専門委員会 議事要旨

日 時 2014年11月26日(水) 18:00~19:30

場 所 原子力損害賠償・廃炉等支援機構 第二大会議室

1. 専門委員会について

NDF事務局より、議事次第、専門委員会の設置、構成員、運営に関する説明を行い、了承された。

2. 福島第一原子力発電所における廃棄物対策の現状

東京電力より、福島第一原子力発電所廃棄物の特徴、廃棄物対策への取組み、廃棄物対策の課題等について説明があった。

3. 福島第一原子力発電所事故廃棄物の処理・処分研究開発

国際廃炉研究開発機構(IRID)より、放射性廃棄物対策の概要、処理・処分研究概要について説明があった。

専門委員からの主な意見は以下の通り。

- 汚染水中の核種の起源について計算による場合には注意が必要である。
- ジオポリマー等による固形化に際してはフェロシアン系のもが含まれる場合は特にpHに注意して行うこと。また分解は発熱反応であることに注意すること。

4. 廃棄物対策分野の技術戦略(仮称)の検討について

NDF事務局より、「廃棄物対策分野の技術戦略(仮称)」について説明した。

専門委員からの主な意見は以下の通り。

- 人材育成や基盤研究は燃料デブリ取り出しの戦略と共通事項としてまとめられると思われる。ロードマップには技術戦略に書くか否かに関わらず記載することになる。
- IAEAの原則では、処分の安全確保は閉じ込め・隔離が基本である。
- トレンチ処分の場合、容器に効果を持たせるというアイデアもありうるので工夫して記載すること。

5. その他議題

- 次回廃棄物対策専門委員会について

以 上